

## ストレスフリーな書き心地のボールペン「ブレン」 新インク搭載のノック式水性カラーペン「クリッカー」が 2019年度グッドデザイン賞を受賞

ゼブラ株式会社（本社：東京都新宿区／代表取締役社長：石川 真一）のストレスフリーな書き心地のボールペン『ブレン』と、ノック式水性カラーペン『クリッカー』の2商品が、このたび2019年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。



△ブレン



△クリッカー

『ブレン』は独自開発の機構によって、従来品で発生していた振動（ブレ）を制御したボールペンです。従来のボールペンは、書く時に紙とペン先が接触するとその力がボールペン内部にある隙間に伝わり、微細な振動（ブレ）が発生していました。ブレンは機構を工夫して振動を制御することで、ストレスフリーな書き心地を実現し、発売以降累計で300万本を売り上げています。（2019年7月末時点）

デザインは、佐藤オオキ氏率いるデザインオフィス nendo と協業し、ストレスフリーな書き心地を、ボディデザインで表現しました。

・価格¥165（税抜価格¥150）エマルジョンインクボールペン インク色：黒、赤、青

『クリッカー』はキャップがなくても乾かない（※）新開発のインクを搭載したノック式の水溶性カラーペンです。新開発のインクは、空気中の水分を吸収して乾燥を防ぎます。（※）そのため、ノックするだけで簡単に使うことができ、キャップの開け閉めで手が汚れてしまう、キャップをなくしてインクが乾いてしまうという不満を解消しています。デザインは、複数のカラーを使いやすいようスリムな形状にし、ノックした時に商品名の横にある窓が赤く切り替わる工夫をしています。

・価格¥110（税抜価格¥100）水性カラーペン 全36色

（※）当社試験：気温20℃、湿度60%の条件下でかすれなし（ペン先収納状態で52週）使用後は必ずペン先を収納。



△ブレン



△クリッカー



当社は引き続き、ユーザーの不満を解消し生活が豊かになるような優れたデザインの製品・サービスを提供するべく、邁進してまいります。

\*\*\*報道関係の方のお問い合わせ先\*\*\*  
ゼブラ株式会社 広報室：鈴木・池田 TEL:03-3268-1228  
e-mail: [ysuzuki@zebra.co.jp](mailto:ysuzuki@zebra.co.jp) / [tikeda@zebra.co.jp](mailto:tikeda@zebra.co.jp)

\*\*\*商品に関する消費者の方のお問い合わせ先\*\*\*  
ゼブラ株式会社 お客様相談室 TEL:0120-555335(平日9時~17時) <http://www.zebra.co.jp/>

2019年10月4日(金)

## ■グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

### 『ブレン』

ユーザーの実体験から導き出されたアイデアを長年の経験から着実に構造に落とし込むことで、今までは書く際に諦めていたストレスを見事に解消している。またそのような機能面と同時に、最大のアイデアであるペン先が「ブレない」というイメージが外観デザインに的確に美しく取り入れられている。この価格帯のボールペンデザインにおいて、一歩先に抜け出した製品と言って良いだろう。

### 『クリッカート』

長い間変わらなかったカラーペンの使いにくさを一掃する商品。キャップの要らないインクの開発によって達成されたデザインとにじまないインクは、カラーペンのユーザーを増やし、表現の可能性を押し広げるだろう。赤い丸窓がブランドロゴの一部と呼応する工夫。価格を100円に抑えてあるのも素晴らしい。

## ■グッドデザイン賞とは

「グッドデザイン賞」は、1957年に設立された「グッドデザイン商品選定制度」（通称Gマーク制度）を継承する、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。デザインによって私たちの暮らしや社会をよりよくしていく活動として、多くの人々から支持されており、シンボルマークの「Gマーク」とともに広く親しまれてきました。

<https://www.g-mark.org/>

## ■2019年度グッドデザイン賞受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2019」に出展

本年10月31日(木)から東京ミッドタウンで開催される、最新のグッドデザイン賞受賞作が集まる受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2019」において、当社受賞商品『ブレン』『クリッカート』が展示されます。

### 2019年度グッドデザイン賞受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2019」

会期：2019年10月31日(木)～11月4日(月・祝)

会場：東京ミッドタウン(東京都港区赤坂9-7-1)

<http://archive.g-mark.org/gde/2019/index.html>